

## 検査内容変更のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。  
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。  
このたび下記検査項目におきまして、検査内容を変更させていただきたくご案内いたします。  
何卒ご了承賜りますようよろしくお願い申し上げます。

敬 白

### 記

■ 変更実施日 平成27年4月1日（水）ご依頼分より

■ 変更項目

検査項目	カルシトニン
	ヒト癌胎児性フィブロネクチン

## ●変更一覧表

掲載頁	項目コード	検査項目	変更内容	新	現	備考
26	2301	カルシトニン	検査方法	ECLIA	RIA2抗体法	国際標準品を用いたnon-RIA試薬への変更。 検査方法、基準値、報告範囲、保存温度、検体取り扱い、その他、参考文献の変更。 所要日数の短縮。
			基準値(単位)	男性 9.52 pg/mL 以下 女性 6.40 pg/mL 以下	(総合検査案内参照)	
			報告範囲	0.50未満、 0.50~99900000	10以下、10~ 1600、1600以上	
			保存	必ず凍結保存してください。	冷蔵保存してください。	
			所要日数	2~4日	4~7日	
			備考	速やかに血清分離後、凍結保存してください。	(記載なし)	
33	4810	ヒト癌胎児性 フィブロネクチン	容器 および 採取 方法	W5 (4頁をご覧ください)	W5	現試薬販売中止による後継新試薬および新採取容器への変更。

## ●変更後の主な検査項目要項

項目コード	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
2301	カルシトニン	血清 0.5	O1 ↓ X	凍結	2~4	143 ※4	ECLIA	男性 9.52 pg/mL 以下 女性 6.40 pg/mL 以下	速やかに血清分離後、凍結保存してください。
4810	ヒト癌胎児性 フィブロネクチン	腔分 泌物	W5	凍結	2~4	204 ※5	ELISA	陰性	検体採取方法は本NEWS4頁をご参照ください。

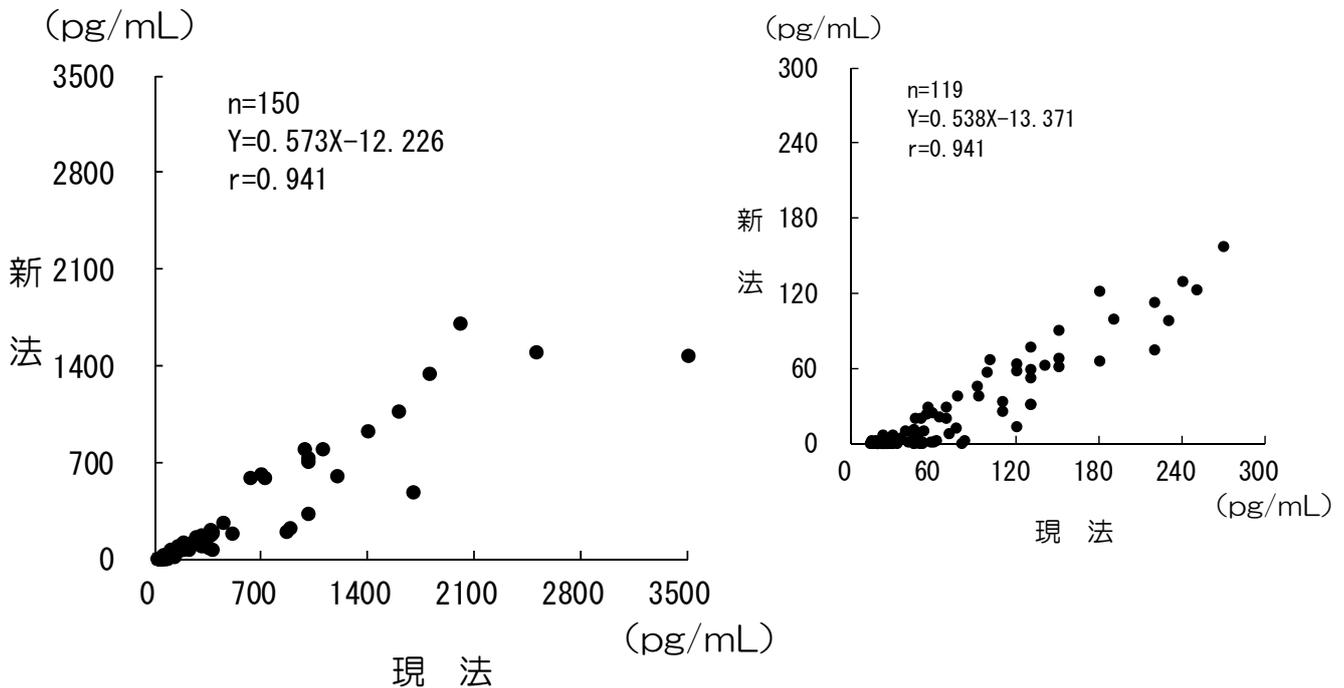
※4：生化学的検査(Ⅱ)判断料      ※5：免疫学的検査判断料

## ●カルシトニン

WHO推奨の国際標準品を用いたnon-RIA試薬へ変更させていただきます。測定感度が向上し、所要日数が短縮されます。変更に伴い、検査方法、基準値、報告範囲、検体保存温度、その他参考文献を変更させていただきます。なお、基準値はメーカー設定値です。

項目コード	検査項目	変更内容	新	現
2301	カルシトニン	検査方法	ECLIA	RIA2抗体法
		基準値(単位)	男性 9.52 pg/mL 以下 女性 6.40 pg/mL 以下	(総合検査案内参照)
		報告範囲	0.50未満、 0.50~99900000	10以下、10~1600、 1600以上
		保存	必ず凍結保存してください。	冷蔵保存してください。
		所要日数	2~4日	4~7日
		備考	速やかに血清分離後、凍結保存してください。	(記載なし)

### ▼現法と新法の比較



### ▼新参考文献

北側 亘, 他: 医学と薬学 72(1): 97~108, 2015. (検査方法参考文献)  
岩瀬 克己: 外科治療 105(4): 347~352, 2011.

## ●ヒト癌胎児性フィブロネクチン

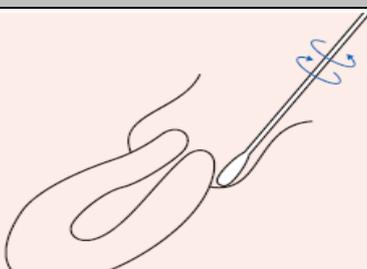
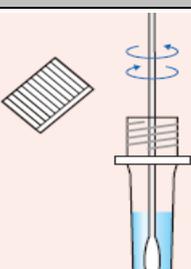
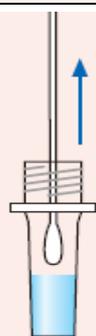
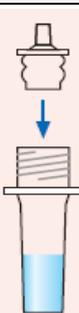
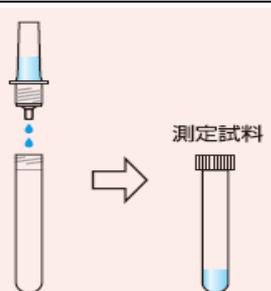
.....  
 現試薬販売中止に伴い、新試薬に変更いたします。併せて、採取容器および検体採取方法を変更させていただきます。

### ▼現試薬と新試薬の比較

		現 法	
		-	+
新 法	-	28	2
	+	1	23

一致率:94.4% (n=54)

### ▼新容器形状および採取方法

容器形態	検査項目	保存	
(W5)	ヒト癌胎児性フィブロネクチン	凍結	
採取方法			
 <p>内容 抽出液                      貯蔵方法 室温                      有効期間 1年</p>	<p>①</p>  <p>専用綿棒を後腔円蓋に挿入し、約10秒間回して分泌物を吸収させます。                      【ご注意】 検体採取時に無理な力がかかると、綿棒が折れる可能性がありますので、十分ご注意ください。</p>	<p>②</p>  <p>検体抽出容器の白色キャップをはずし、分泌液を吸収させた綿棒を浸けて、5回程度綿棒を回します。(この際、容器から液がこぼれないよう注意してください。)</p>	
	<p>③</p>  <p>綿棒を検体抽出容器から引き抜きます。</p>	<p>④</p>  <p>検体抽出容器に検体濾過フィルターを取り付けます。</p>	
	<p>⑤</p>  <p>検体抽出液の全量を検体保存チューブに滴下し、チューブの蓋を締めて必ず凍結保存してください。</p>	<p>●注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 検体の採取は膣洗浄前に行ってください。</li> <li>• 検体中に精液が混入しているときは、その検体は使用しないでください。</li> <li>• 検体中に0.1%以上の血液混入が認められた場合、正確な結果が得られない可能性があります。</li> </ul>	